

(会議の経過) 波賀中学校区 第7回学校規模適正化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局 会長 委員	<p>次第3. ①委員会だより(第2号)の発行について説明 等しく閉校、対等合併を入れるのかなどについて意見はないか。 1号に比べて抽象的(アバウト)になっている。例えば①「ゼロからスタート」は一旦閉校する意味合いで表してあるが、対等合併という言葉は必要になるのではないか。②「中学校に近い校舎を利用する」このあたりも「波賀小校舎を利用する」と具体的な言葉が必要になる。③小規模校のところでは「適正と考える児童数を確保して」など具体的に載せたらどうか。</p>
会長	<p>中学校に近い学校は波賀小学校になることは、はっきり分かっている。当委員会で時期と場所を最終決定することになる。波賀小学校PTAに説明するにあたり、それを載せていいものか悩んでいるところである。抽象的すぎる部分もあるので、そろそろはっきりさせてもいいのではないかとも思う。この点はどうか。第1号は市広報発行日の配布としたため、今回も同様とすると波賀小PTA説明会・野原小PTA総会までの配布は時期的に少し難しいとは思いますが、野原小校区ではPTAや地域の質問に市が答えるという形で進めているが、当委員会ではどのような方向に進んでいるか、あるいはアンケート形式で返信してもらうなどの形にしないと、この内容では市の考えと当委員会の考えが別を向いている状況に感じられ、次の総会で場所と時期を決め、3月に当委員会で決定するのは展開的に急に感じられると思うし、全体的に曖昧だと思う。</p>
委員	<p>第1号でアンケートへの回答を次回に掲載するとしていたことに対応しているもので、委員の了解が得られたらもう少し踏み込んだ内容としてもいいと思う。あわせて発行を2月早々にすることも検討して、委員会として具体の部分を入れることについてはどうか。</p>
会長	<p>場所は中学校に近いとなると波賀小しかないと思う。この話に入る以前から道谷では波賀小だろうという思いを持って話していたので、曖昧な表現とせず波賀小敷地内などでもいいと思う。小中連携と示してあるが、どのような連携ができていくのか、それによって中学校でのいじめが緩和されたなど、具体的な例が記載されることで前向きに進めることができるのではないか。これから波賀でも進めていくのであれば、千種での良い部分などをもっと知っていく必要があると思う。</p>
委員	<p>小中連携の具体的な交流を説明してもらいたい。</p>
会長 事務局	<p>先行事例は千種中学校区になるが、波賀中校区でも数年前から取り組んでもらっている。平成24年度から再構築をはかり小中連携の取組みが充実してきている。例えば中学校の先生が小学校で出前授業を行ったり、小学校の先生が中学校で道徳などの授業をしたりしている。コミュニティーだよりも紹介しているが、例えば3小学校6年生を集めて英語の授業をしたり、小学校同士の連携として5年生の自然学校、4年生ではふるさと宍粟探検隊があり社会科副読本に基づいた調べ学習などの取組みをしている。平成25年4月から三土中学校を含む8中学校区で宍粟型小中一貫教育をめざし本格的にスタートする。一つの大きな目標は小学校と中学校の段差を低くし、中1ギャップを少なくし、例えば不登校の生徒が出ないように取</p>

	<p>組んでいける、そのような効果も見込んでいる。いじめ問題、人権教育についても小中一貫の人権教育カリキュラムを作る中で、系統的に9年間、教育をしていくことについて波賀中校区でも検討していただいております、その中で人権意識を高める効果を求めて取り組んでいる。</p>
会長	<p>小中一貫のこと、学校の部分と地域委員会の気持ちを表現し報告していく部分はどうか。</p>
委員	<p>委員会だよりということなので、もう少しこの委員会の色を出してもいいのではないかと。教育委員会の考え方のまとめになっているので、当委員会の主体性がないたよりにならないかと思う。</p>
会長	<p>第1号での約束事と、委員会としての表現を出す時期が微妙である。小学校が説明会をされる時に出していい部分と出してはいけない部分がある。野原小校区については当委員会の意見にどのように対応するかという部分もある。</p>
委員	<p>波賀小PTAでは2月7日に教育委員会から説明していただく。その状況を見てみないと会員の動向を掴みきれていないところもあるので、細かいところは今の段階ではなんとも言えない。委員会の考え方がここに出てきていないので、もう少し盛り込んでいってもいいかなとは思っている。</p>
委員	<p>野原小PTAは最終的に次回の総会で校区として場所と時期について、決定に向けて進めようと思っている。その点については正直にすべて書き、現場の考え方もすべて書いた方がいいと思う。具体的には、遠距離通学（スクールバス）について、例えば日見谷、水谷など、野原小校区は波賀小を拠点とするなら今からになるが、既存でスクールバス通学でない日見谷など実測距離はわからないが、スクールバスに乗れるような表現にとらえられる。それが教育委員会の考えであるならば具体的に自治会名を出せると思うので、乗れる（乗れない）自治会名を具体的に記載してもらった方がいい。3小校区ともに環境や状況が変わってしまうのは同じである。このあたりは分かるように考え方も書いてもらった方がいいと思う。</p>
会長	<p>当委員会で検討する部分と教育委員会が検討する部分があるが、協議会で話す内容についてもこの委員会で協議する必要もあると思う。これまでの会議でもしてきたものである。A4サイズ両面か、項目を減らし委員会の考えを載せるかなど掲載内容と、配布方法（新聞折り込み、自治会長配布）、また発行日などについてどうか。</p>
委員	<p>なくても協議はできるが、総会前にある方がベースになるとは思っている。</p>
会長	<p>事務局から提案をお願いします。</p>
事務局	<p>アンケートに基づく意見・質問と市の一定の考え方、当委員会での協議の経過・方向性を簡略に併記することでどうか。例えば実施時期など、委員の了解が得られるならば、校区内の協議の予定（PTA懇談会・総会開催日など）と、それを受けて当委員会として方向性を出したいと考えていることなど、確定ではないが、そのような当委員会の協議内容を付すことでどうか。あるいは行政が記載していることが不十分であれば、それに対して当委員会から行政への意見、協議経過を載せてはどうか。</p>
会長	<p>内容の確認方法など、事務局と正副会長に一任していただくことでいいか。</p>
委員	<p>異議なし</p>

会長	校舎については、市も最初から既存の波賀小の使用とし、新しい場所に建てることは難しいとの話も聞いており、波賀小校舎を使うとしているという表現でいいか。
委員	市の考え方として、中学校に一番近い波賀小学校と考えていると載せるのは問題ないと思うが、野原小校区として決定したような発言はしていないので、委員会の協議の中で波賀小に決定というようなことは載せられないと思う。
事務局	場所・時期については、それぞれの地域の協議状況を踏まえて、地域の委員会としての方向性をいつ頃に出していきたいということが委員会としてのメッセージかと思う。そのようなまとめにさせてもらったらどうか。
会長	混乱しない内容のたよりを配布とし、早く知らせるために2月上旬を目途に配布したいと思う。次回の委員会開催日も掲載できるので、2月7日までに届くようにしたいと思う。
事務局	たたき台を作り、委員各位にFAX等での送信、確認後、月末を目途に整理させていただく。また、小中連携の実績やコミュニティーだよりなどの情報も一緒に入れさせてもらいたいと思う。
会長	2月上旬の配布とし、素案については事務局と調整し、委員に確認いただくこととする。
事務局	次第3. ②今後の協議について提案。 年度を1つの区切りにし、方向性、あるいは何らかの結論をいただきたい。それに向けて、今後、それぞれの地域でどのような動きをされるのか。また、事務局側の希望としては、当委員会でも概ね適正化の方向には進もうとしていただいていると今までの流れや経過の中で思っているの、あとは年度末での決定ができるかどうかは別にしても、場所と時期を視野に入れて議論をお願いしたいと思う。それまでにクリアにする部分や各地域ではどのような動きが必要かなどを協議いただけたらと思う。
委員 委員	1月23日の連合自治会長会の話について植原委員より説明いただきたい。教育委員会の考え方の説明があった。学校の位置については小中一貫教育に向けて中学校に近い場所で、時期については25年4月とのことだったが物理的に無理だという説明を受けた。他に補足説明として当委員会の6回の協議の中で、野原・道谷小校区が適正化の方向に向けて了解を得たとの報告もあり、自治会長に中から時期や場所について早く決めた方がいいという意見があり、自治会として3月までに決めないといけないのではないかという話をした。その点について協議いただきたい。
会長	連合自治会として自治会長の確認をとったところである。
事務局	実施時期について当初、市が計画、提案していた25年4月が無理なので、できるだけ早期にと説明させていただいた。
委員	その中で会長から野原は26年、道谷は27年を思われているというような報告もあり、協議した。
会長	野原、道谷小の子ども達が大きな学校に通うことで戸惑うことがある。また慣れた先生が新校に転任するなど、子どもの負担にならないように市も考えてもらっている。事務局から説明を願いたい。
事務局	参考に千種の例を話す。例えば千種南小学校、千種東小学校、千種北小学

会長	<p>校は適正化によって1年ごとに統合していった。千種東と千種南が平成23年に統合し、その時は東小の校長先生以下4名、約半数の先生に残っていただいた。24年4月の時は北小の先生にも教頭以下4名の先生に残ってもらった。全く知っている先生がいない状況を作らないように、自分たちが知っている、信頼できる先生が残っているように、人事面でフォローするように考えた。波賀も同様に考えている。</p> <p>事務局の説明、それに対して他に配慮してほしいことなど意見があったらお願いします。</p>
委員	<p>3校同時にしか統合できないイメージがあったが、千種のように段階的に統合していくことは波賀町ではできないのか。</p>
会長 委員 会長 委員	<p>波賀では段階的統合はないと認識していたと思うが。</p> <p>それは委員会としてはそうしたらどうかという案だろう。</p> <p>P T Aや地域でもその方向で話し合っていると思っているが。</p> <p>千種もはじめは一斉に統合しようとしていたけれど段階的に統合していった。地域、団体ごとに考えは違うと思う。この委員会は、事務局から時期・場所を検討するために依頼されて結成されたが、自治会の長で構成される自治会長会で時期、場所を決めてもらった方がいいのではないか。そうすることで各地域の住民も納得することができるのではないか。この委員会はある程度の方向づけをしていくもので、決めるものではなかったように思うが。</p>
会長	<p>委員会で場所、時期を決めることになっている。ここで決定しないと協議会には移行しない。その認識で確認したい。また、自治会長が勝手に決めることはできないし、野原校区では保護者の意見を尊重して地域の方向性を決定された経緯もある。</p>
委員	<p>委員会で決定するとは思っていなかった。自分たちが時期と場所を決めるという強い責任まで思っていなかった。ある程度の方向性を決定するものだと思っていた。</p>
会長	<p>委員会要領の委員の任期ところに、地域として今後の方向性協議が終了するまでの間と示されている。地域の委員会と地区別協議会の部分で中学校校区を単位とする地域の委員会で方向性の決定、適正化を進める意向、場所、目標時期の設定の部分当委員会の中の役割となっている。再確認してほしい。</p>
事務局	<p>1・2回目の委員会で、当委員会で何を協議していくのか説明してきたが、最初に連合自治会のお世話になって各地域のP T Aや就学前の保護者の代表、地域の代表、昨年まで小学校区懇談会の会長などから選んでいただき集まっている。委員として責任が重過ぎるという意見があったが、地域、団体の意見の集約をどのように行い、それを前提として、地域・団体の総意として発表してもらうのが委員という整理をしたと思う。そのために各校区でまとめていただく努力をいただいているところである。この委員会では適正化を進めるかどうか、さらに最低、時期と場所は決めていただきたいと思う。決めないまま協議会に進んでしまったら、協議会でも協議が進まず決まらないと思う。協議会でもあらためて時期と場所は決議していただくが、前段として当委員会で核になる部分は決めていただきたいと思</p>

会長 事務局	う。波賀地域全体の概ねの方向性を決めていただくイメージを持っていた だいたらいいかと思う。
委員	委員会から協議会へ移行していく判断は教育委員会がするのか。 実際の協議会を設立する場合にも、この地域の委員会から何名か出ていた だくことになると思う。波賀、野原、道谷各地区からもあらためて代表を 選んでいただくことになると思う。その際に、この場におられる委員の方 も何名かは引き続き参加していただくことになると思う。
会長 委員	今日で7回目になるが少しずつ前進している。野原についてはほとんどの 方が適正化には賛成で反対は少ないと思う。このように進んでいきはじめ ている中で、この委員会だよりには8回目の委員会日程が載るが、この間、 何を話し合ってきたのか結果を載せてもらいたい、委員会としてどのよう な方向に進んでいるか付け加えてほしい。野原、道谷も適正化の方向に進 んでいるので、後は時期や場所になる。この委員会では方向性を決定する ともものと思っていた。途中で、時期、場所などを決めてほしいとの説明も 受けたが。
委員 事務局	決定と方向性は微妙な違いがある。 決定とは、平成26年4月に実施することが決定だと思う。その方向性を委 員会で決めたということだろう。
委員	平成26年4月で決定したということではなく、その方向で進むことを決定 したというようなことと思う。
委員 事務局	方向性なら決めやすい。 簡潔にいうと方向性とは、適正化を進めるか、進めないかになる。進める となると、次の協議会で時期や場所を決めてもらうパターンもあるが、こ の委員会では、地域や団体で意見集約をした中で、波賀全体の統一した考 えとして、場所・時期を決定してほしい。それを持って協議会に進めたい と思っている。
委員	時期、場所は当委員会で一本にするということでもいいのか。例えば、総会 でかけて野原は26年と言っていたが27年に、また道谷は27年と言ってい たが29年に、波賀小は26年となった場合に、ここですり合わせていくの か。実施年度がずれていても、委員会が年度を出した場合、その翌年は委 員会になるのか、協議会になるのか、具体的にわからないと総会の場でも たずねられると思う。校区の方向性を決定していくのに、複数年度でとい う持っていく方はできないと思う。
会長 委員 委員	委員会ですり合わせていくことになるだろう。 野原小校区は前は26か27年としていたが、26年の方向が強いのか。 第1回目の総会の時に平成26年4月に統合することを目途に委員会に参加 すると説明してきた。それをもとにして26年に本当に実施できるか、でき ないかを2月17日に話し合い、決定したいと思っている。前回の総会 では26年4月という意見が多かった。3校合意でないと統合できないので あれば、ここに出ている委員に、ある程度、流動的に任せてもらえるよう 保護者に依頼していかないといけないと思っている。
会長	1月23日の連合自治会長会では、実施時期は26年か27年の話と、波賀小 校区は野原小校区、道谷小校区の意見を尊重していく話をした。子ども達

事務局	<p>の人数が年々少なくなっているののでなるべく早く進めたほうが良いとのことで26年4月に決めたらというような意見もあり確認したものである。道谷、戸倉自治会としても25年は山村留学を募集しているが26年の募集の都合もあるので早く決めてほしいというようなことだった。</p> <p>千種が段階的に統合になった状況を説明する。昨年までは各小学校区で懇談会を立ち上げていたが、千種も北小、東小、南小も並行し小学校区でおこなってきた。教育委員会としてはできるだけ早い方がいいのではないかと平成23年度を提案していたが、各地域の思いもあり北小の保護者の中では統合する事はやむをえないが、急すぎるという意見が強かった。平成23年4月に南小と東小が統合する際に委員会から協議会に移る段階では、北小は1年遅れての合併になったが、北小校区の代表にも協議会に参加していただいていた。南小と東小が合併する時はどちらも閉校することなく、一度に合併したが、北小が合併する時には両校が一度閉校して新しい学校にした。その間の協議会は1年半かけておこなった。協議会の途中で東小が先に南小にくっついた形になった。教育委員会としては、波賀も同様に平成25年4月に提案させていただいた。物理的に無理だったが、できるだけ早く進めていきたい。3校、一斉にお願いしたい。</p>
委員	<p>自治会長会で道谷会長もできるだけ早くという意見があったとのことであり、そういう方向に進まないといけないとは思いますが、もう少し整理させていただきたい。</p>
委員	<p>道谷として平成26年4月にあわすなら、この3月中に決めないといけない。実際、統合してみないとどうなるか分からない。分からないまま協議が進んでいる。千種の小学校の跡地利用をどうしているのか、通学はどうしているのか、地域の方の今の思いを具体的に知りたい。良いことばかりではなく千種で問題も出てきているだろう。教えてほしい。</p>
会長 事務局	<p>千種の状況、混乱していること、混乱していないことを説明してほしい。</p> <p>千種東、千種北と1年おきに統合していった経緯があるが、平成23年4月に千種東小の子ども達が千種南小と一緒にいる時、平成24年4月に北小が統合した時も保護者の方はかなり心配された。慣れた先生がいるように配置に配慮し、統合までにたくさんの交流を積み重ねていった。ふれあい文化祭を計画し、実施もしてきた。当初は心配もされていたが、1学期中には子ども達も馴染んできたと思う。</p>
事務局	<p>北小、東小はスクールバスを2便運行している。旧南小の下河野は波賀町でいうと日見谷のような感じでここも運行している。旧東小の保護者にアンケートをとった結果、ほとんどの保護者が良かったという肯定的な内容のものであった。旧東小は地域ぐるみで何でもしてきたが、千種小になり、東小からの参加が少なくなり寂しいというような感想はあった。このあたりは地域づくりのからみの課題になってくるのでこれから話し合っていきたい。小学校の跡地の利活用では東小は鷹巣1自治会での学校というところで、元来、地域づくりが盛んなところで、学校を地域で預かっていただき、自治会で活用したりしている。北小は地域の方で相談する中で当面の間、河内、西河内も利活用を考えないとのことで、市として企業誘致などに活用していく方向の段階である。これが現在の状況である。</p>

会長	スクールバスではなく、神姫バスを参入させる予定もあったと聞いたが、このあたりはどうか。
事務局	行政の中の話をしていただくと、スクールバスは学校の自家用車扱いになる。教育委員会としてはスクールバスを出したいと思っている。一方で公共交通の問題から、子どもが公共交通の需要者になっているところもあり、安易にスクールバスに切り替えると、地域の公共交通が減便してしまう場合も考えられ、それも両睨みで地域の方に説明していきたい。千種北の場合はそのように地域に投げかけた上でスクールバスになった。日見谷も公共交通の関係もあり、教育委員会としてはスクールバスを出したいという思いがあるが公共交通の絡みもあり今すぐに断言できない。このあたりも協議会の中で協議していきたい。
会長	水谷の方は保護者が交代で送迎をしている。そのような事実があることも知っておいてほしい。方向性の決定の部分はすり合せの中で、ある程度この中で整理していくことになる。
事務局	この会議の位置づけについては、中学校区の各団体等の代表の方に集まっていたり、その中で地域の方向性を決定していただくこと、当会で方向性の決定なく協議会には移行しないとの説明もさせていただいてきた。特にPTAの方には保護者の意見を集約して持ってきて出してもらっている。昨日の自治会長会では会長各位は概ね同じ方向に向いていただいていると思っている。その中で波賀町域の方向を当委員会で導きだしていただきたい。そして導き出す時期を例えば2月、3月などの具体的な時期をこの委員会で決定いただけたら、委員会だよりも今後の進め方を記載し、市民の皆さんにお知らせできると思うのでお諮りいただきたいと思う。
会長 委員	野原小校区として2月17日にはどのような話を進められる予定か。 野原小学校としては時期と、場所を決定しようとしている。前回、アンケートを取ったが、意見がバラバラなので、統合について必要な事項や意見を、より濃く集約しようとしている。
会長 委員	2月17日までに、この委員会としての方向性を出すか、出さないか、PTAだけで話を進められるのか、そのあたりはどのようにお考えか。 前回まで思っていたのが、国際交流ができるのか、できないか雰囲気だけでも聞いて帰り、また他校からも聞いて保護者に伝えたかったが、そこまで進んでいない状態である。
会長 委員	国際交流等については協議会での検討になる。 その話は今は協議会の中で話したほうがいいとは思っている。本当は通学路などの具体的な部分も提示したいと思っていたが、協議会への努力目標とした方がいいと思った。時期と場所については意見集約をしたいと思っている。
委員	場所は当委員会で決めないといけないのか、教育委員会で中学校に近い場所と提示してある。この委員会で中学校の前に新しい校舎を建ててもらいたいと希望したところで建ててもらえるのか。そうでないなら、場所は教育委員会が決めたらいいのではないのか。委員会で決めたとなると教育委員会の逃げ道になるように感じる。
事務局	基本、既存の校舎を使うことになっている。

委員	そうだったら教育委員会で場所を決めたらいい。何を協議していったらいいのか分からない。
事務局	協議により場所の合意をいただく必要があると思う。
委員	そうならば、場所は波賀小学校にするということを文言に書いてもらった方がいい。
事務局	教育委員会事務局の考え方として既存の校舎を使いたいので、地域の方の合意、理解がいただきたい。
委員	譲れないところは譲れないと言ってもらった方がいい。考えなくていいことまでに時間を取られてしまい無駄である。
委員	道谷としても波賀小学校しかないことは分かっている。
委員長	変な期待を持ってしまう。 波賀小学校は暗黙の了解になる。時期は道谷、野原小学校のPTAの方で出していったらいいという思いはあるが、今日は無理である。今年度中ということで整理していきたい。校舎の改修工事は新しい学校になってからするのか、このあたりも3月中に決めていけたら良いと思う。
委員	3月中に場所と時期をこの委員会で決めるのか。次回、野原小校区としての意見は出せると思う。来年の委員の選定を出してもらわないと困る。協議会に残る委員についても提示してほしい。
会長	次回は協議会の構成についても提示していく。 次回の開催日は野原小学校のPTA総会終了後、2月27日19時30分からとする。
副会長	(閉会) 校区ごとに問題もあると思うが協議していただき、次回の委員会で話し合えたらいいと思うのでお願いします。